



ぶらりらいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 94

★ 利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の () の数字は請求記号です。)

問) 『少年倶楽部』 創刊号の表紙画を描いた斎藤五百枝について知りたい。

答) : 斎藤五百枝 : 『少年倶楽部』 創刊号をはじめ、昭和9年12月号まで
(さいとういおえ) 担当した表紙は248号にのぼる。

図書 → ことば → 斎藤五百枝 (6件該当)
※ 書名の検索は、副書名も含んでいます。

『絵本Ⅱ 別冊太陽』 (726/Ta33/2) 開架
『少年倶楽部名作選 絵画編』 (918/Ka86) 開架
『「赤い鳥」と「少年倶楽部」の世界』 (909/Y35) 閉架

★ 「少年倶楽部」のキーワードを追加することで、斎藤五百枝氏が担当した表紙画や挿絵の『少年倶楽部』を検索することができます。

雑誌 → ことば → 斎藤五百枝 空白 少年倶楽部 (140件該当)
※ 新聞縮刷版や雑誌など「目次」に記載されたものをすべて含みます。

◎ 資料公開コーナー (1階入口) で「『少年倶楽部』『少女倶楽部』の表紙」を
展示しています。展示期間中 (10月20日～12月7日) 閲覧室内に『少年
倶楽部』関連図書コーナーを設置しておりますので、ご利用ください。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。



「読書週間」ってなあに？

11月3日の文化の日を中心とした10月27日から11月9日までの2週間が「読書週間」です。図書文化の普及と良書の推薦を目的として、大正13年に始まりました。日本図書館協会が開始した当初は、11月17日から23日までの1週間の実施期間で図書館と出版界の連携によってさまざまな行事が展開されました。昭和8年には「図書館週間」と名称を変え開催されていましたが、昭和14年に文部省が発令した「一般週間運動廃止令」に伴い禁じられ「読書普及運動」と変えて11月8日から12日までの開催で継続を計りました。しかし、時局の緊迫化からこの年で終わりました。昭和22年に日本出版協会など出版組織を中心として、日本図書館協会や流通組織、報道、文化関連団体が参加して「読書週間実行委員会」を結成して、11月17日から23日までの一週間実施されました。翌年、「1週間では惜しい。」との声の高まりから、現在の2週間になりました。今年ちょうど60周年です。

*参考文献：『子どもに伝いたい年中行事・記念日』(386/H81)

『栗田確也の追憶』(C289/Ku67)

—図書室から—

いつまでも暑かった今年ですが、次第に紅葉前線が広がってきました。九段界限はまだまだこれから。イチョウにサクラ・・・それぞれの彩りが楽しみです。

* 資料公開コーナー（1階入口）で『少年倶楽部』『少女倶楽部』の表紙を展示しています。

展示期間中（10月20日～12月7日）、閲覧室内に『少年倶楽部』関連の図書を集めた特設コーナーを設置しています。また、『少年倶楽部』『少女倶楽部』を閲覧希望の方は、カウンターにお申し出ください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 94

2007年10月23日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1